

建設経済常任委員会記録

令和4年3月30日（水）

場所：鳥栖市議会 第3委員会室

1 出席委員氏名

委員長 久保山日出男

副委員長 西依義規

委員 小石弘和

委員 齊藤正治

委員 江副康成

委員 池田利幸

委員 野下泰弘

2 欠席委員氏名

なし

3 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主事 赤司和広

4 日程

陳情

陳情第7号鳥栖市内J R無人駅3駅のトイレ存続についての要望

[協議]

5 傍聴者

なし

6 その他

なし

なくなったということで、こういう要望という形で来ていると思うんですが、トイレの存続だけじゃなくて、駅におけるトイレの価値というか、そういったところをやっぱり考えていかないといけないんじゃないかなというふうに思うんですよね。

駅はもともと、そのまちに外から人が来られて、最初に来られるところの玄関口でもあるし、まちの入り口、そこから、いろんなどころに出会いもあれば、また今回のトイレも、いろいろ話の中で、車両の中にある、次の目的地にある、だからと言うんやけれども、やっぱり駅で、電車が来るまで人を待ったり、送ったり、いろんな意味でそこに人が滞留して、またそこでにぎやかさも出てくるということがありましてですね。

やっぱりJRだけにトイレを頼ってもいいのかなというふうに、私はちょっと思うとですよ。

そういった意味で、当面は、このトイレを何とか維持して、今の便益を確保したいということはあるんですけども、今後、トイレをまちの一つの大きな重要な拠点として整備する方向で、ぜひ持って行っていただきたいなど。

なぜかという、今、担当の国道・交通対策課のほうには、昔から、地域公共交通総合連携計画、それから今、網形成計画という形で、大きな公共交通の流れから、その後、例えばJRからバス、タクシー、あるいはマイカー、そういったところの接続をいかに図るかということ、地域公共交通、地域の足を確保するためという形で、もう長年時間かけて話しているわけですよ。

そういう中において、駅の重要性というのは当たり前前の結節点だから、非常に高いわけですよ。

となると、その重要性をもっと考えてもらわんといかんということ。

そしてあと1つは、鳥栖市は市民協働、あるいは市民と行政との協働でまちをつくるということのほかに、事業者と一緒にまちをつくり上げていくというような観点も持っているはずなんですよね。

それからすると、JR九州さんという事業者、どこにでもあるわけじゃなくて、鳥栖は昔から国鉄のまち、JRのまちという形で、非常に根幹的な部分であるから、これはJR九州だけじゃなくて、東日本、西日本、どこでも非常に経営的に厳しい。

こういう中において、やっぱり鳥栖市ができるというところをもっと……（「結論は」と呼ぶ者あり）

結論から言うと、ちょっとすいません、最後までよかですか。途中で言われると、分からんごとなるけんですね。

一番初めに、結論の部分は言ってから、理由を今ずっと話しているんですけど。

結論から言うと、表題はトイレの存続だけになっているけれども、存続するだけじゃなくて、トイレの価値というやつをきちんと見定めて、鳥栖市ができるところは、何ができるのかという

やつを積極的に考える一場面じゃないですかと。

そういう形で持っていくべきだということを言おうとしていたところでございます。

最後の理由づけのところ、1つ言いました。

2つが事業者と鳥栖市との協働という中において、JRさんが厳しいときには、鳥栖市ができる分は積極的にやったほうがいいんじゃないかなと。

当然、新鳥栖駅、鳥栖駅の在り方っていう形をJRさんとも協議をせんといかんと。

やっぱり大変なときには協力して、できるところはやってあげるといような姿勢をぜひ見せるべきだといようなことでございます。

以上です。

小石弘和委員

そういうような問題は後でも継続的なものはできると思う。

まずはここに、3駅のトイレの存続についての問題だから、これをもう早く、鳥栖市で管理して、早急にやってほしいというふうなことなんですよ。

その後に、存続ができれば、そういうふうな話合いができてくるから。

まずは、この3駅に対してのトイレの存続を、結局鳥栖市でもう完全に維持管理しなさいといようなことが、今日の委員会の大きな要望やなかね？

その後に、江副君が言うように、いろんな問題は継続して交渉はできていくとやけん。

この要望書に対して、どうしようかといような形ですから。

ここに旭地区の要望書が出てこないにもかかわらず、こういうのを削除してこれに対してのもう要望だから。

ですから、この委員会としては、もう全員の総意を見たといようなことで、ぜひ鳥栖市が維持管理はやりなさいといようなことを言うべきじゃないかな。

以上です。

池田利幸委員

要望書への返答内容は修正されるんですよね？

これ、旭地区に出されていたやつと全く同じやつですよ。

各委員よりっていうところ前の文章と全く一緒だと思うんですけど、旭地区には公共施設等がないという部分で、旭地区の要望書の返答になっているんで、これはもう全体の部分なんで、小石委員が言われていたように、この辺は削除して……（「参考資料ですね」と呼ぶ者あり）前回の参考資料ですよ。

だから、そこを抜いた部分で、コンパクトにまとめて、一致を見たっていう部分の結論があればいいんじゃないかなと私も思います。

久保山日出男委員長

小石委員が申されましたように、全会一致であれば、もう当然ながら、前向きでやるということ、前回いただいておりますので。(発言する者あり)

齊藤正治委員

どうせ出るだろうということで、こういう結論の要望をまとめているわけやろう。

だから、それ以上に付け加えるものがあれば、付け加えていいんやけど、別に付け加えるものってないじゃないですか。

久保山日出男委員長

改めてまた今度来ます。

齊藤正治委員

だからそれも含めて、前回、協議しとるわけですよ。

ですから、ここに3駅とも入っているわけよね、田代駅、肥前麓駅も。

久保山日出男委員長

であっても、まず陳情は確実に出てくるっていう様子はもう分かっておりました。

小石委員よりお電話いただいていたので。

その確認を取った上で、ああいう意見を申し上げた次第であります。

齊藤正治委員

出てくるの分かっているけんが、ここに入れているわけじゃない。

3駅を市で維持管理してくださいということを既にも書いておるやん。

だからこれ、改めてこれを議論するのは、当然、これも入っているっていうことの中でしているわけでしょう。

だから、本来言うならば、前回、議会のときに協議した後、その後、今回は執行部の結論まで行かんけど、どういう協議をしているかっていうのを、当然、していくべきであったんじゃないかなろうかと私は思うけど。

久保山日出男委員長

あの時点では、「(この間、確認しました)」と呼ぶ者あり)

上がってきておりますので。

上がってくるだろうで、上がってきて、一応目星はつけとって、この委員会としては。

それであると、向こうは整理してくるということでございましたから、待つ余裕を持たずに、これに一応対応しておこうと。

齊藤正治委員

だから、これで要望に対する協議をしているわけでしょうって。

見の一致は前回も皆さん見ているんで。

私はそこからの現在の状況をプラスアルファした上で、3駅についてっていう部分で、結論を返せばいいんじゃないかなと思っております。

齊藤正治委員

次の委員会が7日にするわけですよ。

だから、7日に執行部を呼んで、そしてどういう状況かというのを聞いた上で、これに対する回答を、一方的にうちが出すんじゃないしに、どういう内容か分からん協議を、それまでするか、せんかも知らんばってん、それまでにしてくださいと。

久保山日出男委員長

いや齊藤委員、勘違いしてあるような気がしますが、1回委員会でしてあげて、また上がってきたその中で、またこっちはしていこうというふうにしとったはずですが、委員会をもう一回。

新たな向こうの考えが出てきますから、執行部の。

当たりました、こうしましたちゅうのは。

それは確認いただいたと思っておりますよ。

齊藤正治委員

委員会の結論を出せばそれで終わり。

そういうことだと思っておりますよ。

要望に対する陳情を返しましたちゅう話やろうけん。

そのまま継続的に誰かが言うか、委員会ですっと詰めていくのかっていう、そういった議題としてやっていくのかっていうのも一つは問題があると思います。

久保山日出男委員長

暫時休憩します。

午前10時14分休憩



午前10時15分開会

久保山日出男委員長

再開します。

西依義規委員

私から、この陳情に関しましては、確かにJRからの一方的なもう突然の通告で、この地域の駅のトイレを潰すのは本当に駄目だと思っておりますし、市が維持管理すべきだと思っております。

ですけど、当面の間、市がしっかり維持管理をしていただき、行く行くはいろんな可能性を考えて、地域との協議の上、この駅のトイレの在り方についても市で考えていただきたいと思っております。

以上です。

まとめとしては、今日皆さんの意見としては、前回の旭駅の答申と変わらないということよろしいですか。

そしてまだ、市の結論を頂いておりませんので、今後も委員会として、この件につきましては、協議してまいりたいと思っておりますけど、よろしいでしょうか。

小石弘和委員

今日の区長連合会から出た分の要望に関して、書類は結局、議長にやって、執行部に戻す、そういうような段取りですか。

西依義規委員

今日はしっかりこの区長連合会の陳情を協議して、議長に返して、そのまま陳情者に返していただくということになります。

江副康成委員

最後の部分で、併せて市長といいますか、執行部に強く存続、早期に急げという要望もしているという言葉も入れていいんじゃないかなと思うんですね。それがさっきの分はちょっとなかったような気がするけれども。

陳情者に戻すだけでなく、市長に働きかけるということもいいんじゃないですか。

小石弘和委員

先ほど西依君が言いましたけど、これはJRの一方的なものじゃないんですよ。それは書いてもらってはいけないわけよ。

ということは、JRからの打診が2回も3回もあつとるわけ。その件に関しては、全部市が蹴ってきているわけ。

JRの一方的な——それを要するに書いたらちょっとおかしいんじゃないかなというふうには思います。

やっぱり、2回も3回も、JRからどうしますか、どうしますかと。

結局、担当者と市長関係は協議して、全部駄目だというような形で蹴ってきているわけですね。

以上です。

西依義規委員

区長連合会の陳情にそう書いてあったんですよ。

だから、地域の方々はそう思っていらっしゃるという意味で、そういう申出だったというふうな意味で言ったんで。

J Rさんの言い方も、ただ、もう潰しますからっていうところは多分変わらない。

どうしましょうかという協議じゃなくて、潰しますからっていう協議だったとお聞きしておりますんで、一方的とはちょっと言い方に語弊があったかもしれませんが、向こうからの申出は、一方通行であったんじゃないかなとは思っております。

小石弘和委員

ただ、問題があるのは、結局大きな企業に対して、便所を市が管理するっちゃうようなことが条文にある程度書いてあるわけ。

それで結局、そういうふうな形になったんじゃないかなと。

ですから、結局これが動き出すということは、やっぱり要望書が出てきたからこそ、この動き出しになってきたわけですからね。

ですから、旭駅の問題と、この区長連合会でいうたら、結局、あと麓と田代駅の問題を加味して、結局の要望書が、その地域の区長さんもやってこられたというような形で思うから。

結局3地区のやっぱり要望をしてあげていただくというふうな形を、2回目はやっていただきたいと思うわけですよ。

久保山日出男委員長

それでは、次の委員会のことですが、7日というのはちょっと無理があるかなと。

人事異動があったりして、職員がどこまでの把握を言い伝えているかのコミュニケーションができない状態で、我々が意見を聞くっちゃうのもどうかなと思うんですよ。

だからちょっと、日程的には進めるような方向は、もちろんながら進めますけれども、20日前後、我々の視察も含めて、いろいろあります。

陳情等もありますけれども、4月末ぐらいでどうでしょうかね。

月末っちゃうか。「いつぐらいに返答できるかでしょうね」と呼ぶ者あり）（発言する者あり）

小石弘和委員

結局今日の協議を前回とも合わせて、これを上げていただく。

そして、その後に、いつがいいかというのは執行部とのやっぱり調整をしてから、これを上げんことには話にならんとだから。

あと執行部との調整が、いつ委員会はできるかというふうなことをして、結局、決めたらどう

これもちまして、建設経済常任委員会を閉会いたします。

午前10時28分散会

鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会建設経済常任委員長 久保山 日出男